

平成26年度宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会 会議録（全体）

日 時：平成26年5月10日（土）午前10時開会、午前11時50分閉会

場 所：宮沢賢治イーハトーブ館講義室

出欠者：出席委員 岡村委員、阿部委員、大原委員、高橋委員、浅沼委員、伊藤諒子委員、小原委員、岩田委員、多田委員

欠席委員 伊藤賢治委員

説明者 細川生涯学習部長、佐藤賢治まちづくり課長、栗原館長、藤井事務長、牛崎副主幹

会議開催前に、細川生涯学習部長から各委員に委嘱状を交付した。その後、出席者が自己紹介した。

1 開 会

2 あいさつ（概要）

栗原館長

宮沢賢治イーハトーブ館は、宮沢賢治記念館の姉妹館と考えている。宮沢賢治学会の代表理事でもあり、学会を市民学会として運営していきたい。

細川生涯学習部長

宮沢賢治イーハトーブ館は、研究者、愛好者が利用できる場所であり、館の設立時の背景を踏まえていきたい。

3 会長選出

岩田委員を会長に選出

4 議 事（概要）

岩田会長が議長になり議事を進行（宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第6条第2項）

(1) 平成25年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業報告について

藤井事務長

平成25年度年報の運営の概要、入館者数の資料等により、平成25年度事業概要を説明した。

高橋委員

市長や組織が変わろうと、イーハトーブ館がつくられた趣旨を踏まえてやっていくべきだ。変えるには、関係者の意見を聞くべきだ。書籍の販売や喫茶は最初からやることになっている。このスペースを市に賃貸借すべきかどうか。学会の一般会計、特別会計とも不安定な状況だ。今後も事務局と相談しながらやっていただきたい。

ホールの催しで入場料を取った経緯があるが。

栗原館長

入場料を取ることは、営利を得る目的ではなかったことでも承されている。平成25年度はなかった。猫の事務所は、もうけるためにやっているのではない。使用料は不十分な結末となったが、来年度に向けて整理していきたい。書籍の販売や喫茶は維持していきたい。

阿部委員

図書の状況や閲覧の状況を資料に示してほしい。

栗原館長

図書は相当量を扱っており、パソコンでの検索もできる。

藤井事務長

賢治関係図書・資料・論文等は16,662件、新聞件数は17,567件、軽易な照会を除いた資料請求は237件となっている。年報に掲載していきたい。

小原委員

イーハトーブ館に募金箱を設置してはどうか。

細川生涯学習部長

ミュージアム系は浄財で運営しているところもあるが、市の公の施設であり、運営責任は市にある。設立時の経過を踏まえて維持・管理しなければならない。経緯や運営努力を踏まえ、学会と協議しながら変えるべきものは合意のうえで変えていく。

栗原館長

話し合いで合意して運営していく。

岩田議長（会長）

過去に行われた施設のバリアフリー点検で、イーハトーブ館は厳しい環境と評価されている。昨年度の階段への手摺設置はよかった。施設は少しずつでも改善してほしい。

岡村委員

記念館への階段が設置されたが。

高橋委員

階段の上り下りはすごく大変だ。

栗原館長

相談をされていたら、もっと違っていた。

伊藤委員

階段設置してよい点は何か。メリットはないのでは。

牛崎副主幹

車道と歩行者を区別する考えでやったもの。

細川生涯学習部長

階段を活用いただけるようにしていきたい。

栗原館長

ベンチを置くこと、遊歩道を設け散策に活用できるようにしては。

阿部委員

南斜花壇を有機的に活用していくべき。

佐藤賢治まちづくり課長

点から線、面にしていきたい。

(2) 平成26年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業計画について

藤井事務長

平成26年度宮沢賢治イーハトーブ館の事業計画（案）により計画概要を説明した。

岩田議長（会長）

企画展のPRはどのように行っているか。

藤井事務長

学会のホームページに掲載している。また、ポスターを作成し、駅や空港、温泉等に掲示している。

栗原館長

PRを工夫して徹底していく。

岡村委員

南斜花壇の階段は、新素材を活用してはどうか。

阿部委員

イーハトーブ館と各市民の会との連携は。

栗原館長

運営審議会委員の人選に反映している。

岡村委員

図書館長や各記念館の連携を図る場があればいいと思う。

細川生涯学習部長

連携を図る機会を検討していく。

浅沼委員

早池峰と賢治の展示館をやっているが、光熱水費は市の負担だが、運営は自前・ボランティアでやっている。館の事業が広報に載っていない。市の補助がつかない。

小原委員

今までは市の補助はなかなかつかなかった。文化面にあまり力が入っていなかった。

岩田議長（会長）

活発な活動をするためには資金が必要だ。各地域の動きを大切にしたい。

大原委員

賢治関係図書が増えている。図書室は狭くないか。

藤井事務長

図書室のほかに書庫に収納している。月刊誌は賢治関係分だけにするなど、省スペース化を図っている。収納スペースは狭くなりつつある。

栗原館長

副本を処分し、収納スペースを確保するようにしている。

小原委員

賢治賞・イーハトーブ賞を二つに分けている理由は。

栗原館長

賢治賞・イーハトーブ賞の表彰の基準を説明した。

小原委員

吉見正信さんを表彰してほしい。

栗原館長

表彰は、会員の推薦、学識者の推薦によっている。

5 その他

協議事項等なし。

6 閉 会